オムロン(株) OMR_CSIO_JA_30 3/2024

C/CV シリーズ上位リンク ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	
3	通信設定例	17
4	設定項目	71
5	結線図	76
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

表示器とオムロン(株)製接続機器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C200H-LK201 ^{*1} C120-LK201-V1 ^{*2}	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	С200Н	C200H-LK202 ^{*1} C120-LK202-V1 ^{*2}	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
	C200HS	C200H-LK201 ^{*1} C120-LK201-V1 ^{*2}	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
SYSMAC C		C200H-LK202 ^{*1}	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		CPU ユニット上のリ ンク I/F ^{*3}	RS232C	設定例 3 (23 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 4 (25 ページ)	結線図 4 (88ページ) *4

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C120-LK201-V1 ^{*2}	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
		C120-LK202-V1 ^{*2}	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
	C500		RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C500F C1000H	C500-LK201-V1 ^{*2}	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
	C2000 C2000H		RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		C500-LK203 ^{*2}	RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 5 (89 ページ)
SYSMAC C			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 15 (148 ペー ジ)
		C500-LK201-V1 ^{*2}	RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
			RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
		C500-LK203 ^{*2}	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 5 (89 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 15 (148 ペー ジ)
	C20H C28H C40H	CPU ユニット上のリ ンク I/F ^{*3}	RS232C	設定例 7 (33 ページ)	結線図 6 (97 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C20-LK201-V1 ^{*2}	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C20PF C28PF C40PF		RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
	C60PF	C20-LK202-V1 ^{*2}	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		C120-LK201-V1 ^{*2}	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C120 C120F		RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
		C120-LK202-V1 ^{*2}	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
	CQM1-CPU11	CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 4 (88ページ) *4
SYSMAC C	CQM1-CPU21 CQM1-CPU41 CQM1-CPU42 CQM1-CPU43 CQM1-CPU44 CQM1-CPU41-V1 CQM1-CPU42-V1 CQM1-CPU43-V1 CQM1-CPU44-V1	CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 4 (88 ページ) *4
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 4 (88ページ) *4
	CPM1 CPM1A	CPM1-CIF01	RS232C	設定例 10 (39 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	CPM1A-V1		RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (41 ページ)	結線図 7 (99 ページ)
		CPM1-CIF11	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (41 ページ)	結線図 16 (156 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図3
		CPM1-CIF01		設定例 10 (39 ページ)	(86 ページ)
	CPM2A		RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (41 ページ)	結線図 7 (99 ページ)
		CPM1-CIF11	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (41 ページ)	結線図 16 (156 ペー ジ)
		CPUユニット上の通	PS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) ^{*4}
		信ポート	K5252C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
	CPM2C	CPM2C-CIF01 上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 12 (43 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
		CPM2C-CIF01 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 13 (45 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
SYSMAC C		CPM2C-CIF11上の RS232Cポート	RS232C	設定例 14 (47 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CPM2C-CIF11 上の端 子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 15 (49 ページ)	結線図 10 (112 ペー ジ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 15 (49 ページ)	結線図 17 (164 ペー ジ)
	COM1H-CPU11	CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
				設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
	CQM1H-CPU21	CPU ユニット上のペ	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
		リフェラルポート		設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図 3 (86 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
SYSMAC C	CQM1H-CPU51	CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
				設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	equilitier con	CQM1H-SCB41 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 16 (51 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CQM1H-SCB41上の RS422A/485ポート	RS422/485 (4 線式)	設定例 17 (53 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ) ^{*5}
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 17 (53 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ) ^{*5}

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 18 (55 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		C200HW-COM02-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
			RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)
	C200HE-CPU42 C200HG-CPU63 C200HG-CPU43 C200HX-CPU64 C200HX-CPU44 C200HE-CPU42-Z C200HG-CPU63-Z C200HG-CPU43-Z C200HX-CPU85-Z C200HX-CPU65-Z C200HX-CPU64-Z C200HX-CPU64-Z	C20011W-COM05-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)
		C200HW-COM04-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		C200HW-COM05-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
SYSMAC α		C200HW-COM06-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
			RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C200HW-COM02-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		C200HW COM03 V1	RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)
		C2001W-COM05-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)
	C200HX-CPU34	C200HW-COM04-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	C200HX-CPU54 C200HX-CPU54 C200HX-CPU34-Z	C200HW-COM05-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	C200HX-CPU54-Z C200HE-CPU32 C200HE-CPU32-Z C200HG-CPU33 C200HG-CPU33-Z C200HG-CPU53 C200HG-CPU53-Z	C200HW-COM06-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
			RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)
STOWAG U			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C200HE-CPU11 C200HE-CPU11-Z		RS422 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
			RS232C (通信ポート1 接続)	設定例 21 (61 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS232C (通信ポート2 接続)	設定例 22 (63 ページ)	結線図 12 (130 ペー ジ)
	CV500	CV500-LK201	RS422/485(4 線式) (通信ポート2 接続)	設定例 23 (65 ページ)	結線図 13 (132 ペー ジ)
SYSMAC CV	CV1000 CV2000 CVM1 CVM1D		RS422/485(4 線式) マルチリンク	設定例 23 (65 ページ)	結線図 19 (188 ペー ジ)
		CPU ユニット上のリ ンク I/F ^{*6}	RS232C	設定例 24 (67 ページ)	結線図 12 (130 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式)	設定例 25 (69 ページ)	結線図 13 (132 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式) マルチリンク	設定例 25 (69 ページ)	結線図 19 (188 ペー ジ)

*1 ベース取り付けタイプです。

*2 CPU 取り付けタイプです。

*3 RS232C ポートに接続します。

*4 市販の9ピン-25ピン変換アダプタが必要です。

*5 2線/4線切り替えスイッチを4線に設定してください(4線式のみ使用可能)。

*6 HOSTLINK ポートに接続してください。

重要	•	SYSMAC-α シリーズの場合は以下の点にご注意してください。
	•	存在しないデータメモリエリア (DM6656 ~ DM6999) にアクセスを行った場合の動
		作は保証できません。
	•	拡張固定 DM の設定を行わずに DM7000 ~ DM9999 にアクセスを行った場合の動
		作は保証できません。
	•	拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できま

拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できません。

■ 接続構成

1:1 接続



• 1:n接続



• n:1接続 (マルチリンク接続)



MEMO ・最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台 までの接続を推奨します。 • n:m 接続(マルチリンク接続)



MEMO ・最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台 までの接続を推奨します。

■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S.11-7	使用可能ポート			
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ^{*1} 、COM2、 COM3 ^{*1} 、COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}	
PS-3650A(T41 機種)、 PS-3651A(T41 機種)	COM1 ^{*1}	-	-	
PS-3650A(T42 機種)、 PS-3651A(T42 機種)	COM1 ^{*1*2} , COM2	COM1 ^{*1*2}	COM1 ^{*1*2}	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{*1} , COM2 ^{*1} , COM3 ^{*2} , COM4	COM3 ^{*2}	COM3 ^{*2}	
PS-3711A	COM1 ^{*1} 、COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}	
PS4000 ^{*3}	COM1、COM2	-	-	
PL3000	COM1 ^{*1*2} , COM2 ^{*1} , COM3, COM4	COM1*1*2	COM1*1*2	
PE-4000B Atom N270	COM1, COM2	-	-	
PE-4000B Atom N2600	COM1, COM2	COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、 COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}	COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、 COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}	
PS5000 (スリムパネルタ イプ Core i3 モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}	
PS5000(スリムパネルタ イプ Atom モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	
PS5000(耐環境パネルタ イプ) ^{*8}	COM1	-	-	
PS5000 (モジュラータイ プ PFXPU/PFXPP) ^{*5 *6} PS5000 (モジュラータイ プ PFXPL2B5-6)	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}	
PS5000(モジュラータイ プ PFXPL2B1-4)	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	
PS6000(アドバンスド ボックス) PS6000(スタンダード ボックス)	COM1 ^{*9}	*10	*10	
PS6000(ベーシックボッ クス)	COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}	

*1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

*2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

- *3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみ サポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでくだ さい。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。
- *4 通信方式を BIOS で設定する必要があります。BIOS の詳細は IPC のマニュアルを参照してくだ さい。
- *5 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールと接続機器を通信させる場合、IPC(RS-232C) または PS5000(RS-422/485)の結線図を使用してください。ただし PFXZPBMPR42P2 をフロー制御なしの RS-422/485(4 線式)として使用する場合は 7.RTS+ と 8.CTS+、6.RTS- と 9.CTS- を接続してください。 接続機器との接続で RS-422/485 通信を使用するときには通信速度を落として送信ウェイトを増やすことが必要な場合があります。
- *6 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールで RS-422/485 通信を使用するにはディップス イッチの設定が必要です。サポート専用サイトの「よくある質問」(FAQ)を参照してください。 (http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html)

項目	FAQ ID
PFXZPBMPR42P2のRS422/485切り替え方法	FA263858
PFXZPBMPR42P2の終端抵抗設定	FA263974
PFXZPBMPR44P2のRS422/485切り替え方法	FA264087
PFXZPBMPR44P2の終端抵抗設定	FA264088

- *7 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。ディップスイッチの詳細は IPC のマニュアルを参照してください。 ボックス Atom には RS-232C、RS-422/485 モードを設定するスイッチがありません。通信方式は BIOS で設定してください。
- *8 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、表示器側のコネクタを M12 A コード8 ピン(ソ ケット)に読み替えてください。ピン配列は結線図に記載している内容と同じです。M12 A コー ドのコネクタには PFXZPSCNM122 を使用してください。
- *9 本体上の COM1 以外に、オプションインターフェイス上の COM ポートを使用することもできます。
- *10 拡張スロットにオプションインターフェイスを取り付ける必要があります。

ディップスイッチの設定 (PL3000/PS3000 シリーズ)

RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF ^{*1}	予約(常時 OFF)
2	OFF	通信士士 · BS 222C
3	OFF	□ lī 刀式: KS-232C
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない

ディップスイッチ	設定値	設定内容
9	OFF	DC(DTC) 白動判御エー ド・毎
10	OFF	KS(KIS) 日勤前御モニト.無効

*1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。

RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信卡式·BS 422/485	
3	ON	地向万式、KS-422/405	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DC(DTC) 白動判御エード, 毎	
10	OFF	K5(K15) 日期前個七一下: 無刻	

RS-422/485(2 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	· 通信卡式 · BS /22//85
3	ON	通信万式, KS-422/485
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω) : なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	ON	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:する
8	ON	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:する
9	ON	DC(DTC) 白動判御エード・方効
10	ON	へろ(へいろ) 日 動向1仰で「下、 日 刈

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🂰 ようこそ GP-Pro EX ヘ			×
GP-Pro			
	接続機器数 1 🗄		
	接続機器1		ן ר
	メーカー オムロン(株)	-	-
	シリーズ C/OV シリーズ上	:位リンク	·
	ポート COM1	•	·
	この接続機器のマ	<u> マニュアルを見る</u>	
	最近使った接続機	<u>提器</u>	
			<u> </u>
	🔲 システムエリアを使用する	機器接続マニュアル/	\land
	戻る (B) / 通信	言設定 ロジック画面作成 ベース画面作成 キャンセル	

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「オムロン㈱」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「C/CV シリーズ 上位リンク」を選択します。 「C/CV シリーズ 上位リンク」で接続できる接続機器はシステム構成で確認して ください。 ☞「1 システム構成」(3ページ)
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
システムエリアを使用 する	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア)」
	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「システム設定 [本体設定] - [システ ムエリア設定] の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定 - システムエリア設定」

3 通信設定例

(株)デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例1

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー オムロン(株)		ポート COM1
文字列データモード 3 変更		
通信設定		
通信方式 ④ RS232C 〇)RS422/485(2線式) 🔘 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200	•	
データ長 💿 7 🖸	8	
パリティ 🔿 なし 🔎)偶数 〇 奇数	
ストップビット 〇一1 🧿	02	
フロー制御 🛛 なし 🤅	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🕂 (sec))	
リトライ 2 🗄		
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)		
RI/VCC © RI C	VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にする にするかを選択できます。デジタル製RS23 トを使用する場合は、VOCを選択してくだる	5かVCC切V電源供給) 2Cアイソレーションユニッ さい。 初期服役定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 機器を追		
No. 機器名 設定		間接機器
▲ 1 PLC1 💽 ジリーズ=C	リンク、号機No.=0、モニタモードへ変更=ON	÷

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更し 再確認してくださ	○ C リンク ○ CV リンク た場合は、すでに使用されているアドレスを い。
号機 No.	0
動作モード 運転モードの場合、	▼ モニタモードへ変更 表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(<u>Q</u>) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

◆ C200H-LK201 の場合

ロータリースイッチ	設定	設定内容
SW1	0	号機 No.×10
SW2	0	号機 No.×1
SW3	6	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	2	7bit 長、2 ストップビット、偶数
ディップフィッチ		
ディップスイッチ (背面)	設定	設定内容
ディップスイッチ (背面) SW1	設定 OFF	設定内容 未使用
ディップスイッチ (背面) SW1 SW2	設定 OFF OFF	設定内容 未使用 未使用
ディップスイッチ (背面) SW1 SW2 SW3	設定 OFF OFF ON	設定内容 未使用 未使用 1:N 手順

CTS 制御は 0V(常時 ON)にしてください。

◆C120-LK201-V1の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No. : 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	ON	伝送速度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	
SW8	ON	レベル1,2,3有効
ディップスイッチ 3	設定	設定内容
SW1	ON	
SW2	OFF	CIS 常時 ON
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	内部同期
SW6	OFF	
SW7	OFF	+ (+ 17
SW8	OFF	无 使 用

3.2 設定例 2

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔻	
データ長 ④ 7 〇 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
yh51 2 🗄	
送信ウェイト 0 三 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 3π#88/4mm 1	
(機研が)最大定 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定 設定	追加
↓ 1 PLC1 シリーズ=C リンク、号機No.=0、モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	E 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズ 再確認して	○ C リンク ○ CV リンク E更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの#	▼ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

◆ C200H-LK202 の場合

ロータリースイッチ	設定	設定内容
SW1	0	号機 No.×10
SW2	0	号機 No.×1
SW3	6	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	2	7bit 長、2 ストップビット、偶数

背面のスイッチは下記のように設定してください。

- 1:N 手順(OFF)
- システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端 抵抗接続無し(OFF)]にしてください。

◆C120-LK202-V1の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	- 号機 No. : 0
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	
SW8	ON	運転

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	ON	伝达速度:19.2Kops
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1 : N 手順
SW7	ON	レベル1,2,3有効
SW8	ON	

• システム構成上、通信接続の末端に位置する場合

ディップスイッチ 3	設定	設定内容
SW1	ON	
SW2	OFF	終端抵抗をつける
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	
SW6	OFF	
SW7	OFF	未使用
SW8	OFF	

• それ以外の場合

ディップスイッチ 3	設定	設定内容
SW1	ON	
SW2	OFF	
SW3	OFF	6月11日1日-1-1-2、 (1-1-2、)、
SW4	OFF	終端抵抗をつけない
SW5	OFF	
SW6	OFF	
SW7	OFF	未使用
SW8	OFF	

3.3 設定例 3

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 🔽	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ C なし O 偶数 C 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2 🗄	
送信ウェイト 0 \Xi (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。	
1856年の1882年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定	追加
▶ 1 PLC1 ▶ 1 P	\$

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	E X
PLC1	
シリーズ シリーズ 東確認して	○ C リンク ○ CV リンク ご更した場合は、すでに使用されているアドレスを なだい。
号機No.	
動作モード 運転モードの地	✓ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(<u>O</u>) キャンセル

◆ ラダーツールで設定する場合

上位リンクポートの設定は、ラダーツールの [PC システム設定]を開き、[上位リンクポート]にて設定します。ラダーツールの詳細は接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
通信設定	ユーザー設定
通信速度	19200
パラメータ	7、2、E
モード	上位リンク
号機 No.	0 号機
ディレー	0
CS 制御	あり

◆ データレジスタに値を設定する場合

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.4 設定例 4

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ (C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 · C RS232C · C RS422/485位線式 · C RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1 〇 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 📥 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
RI / VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル例PS22Cでメリルージャンフェッ	
トを使用する場合は、VCOを選択してださい。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 翻定	間接機器

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	E 🛛 🔀
PLC1	
シリーズ シリーズを変 再確認して	○ C リンク ○ CV リンク ご更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの増	✓ モニタモードへ変更 熱合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

◆ ラダーツールで設定する場合

ペリフェラルポートの設定は、ラダーツールの [PC システム設定]を開き、[ペリフェラルポート]に て設定します。ラダーツールの詳細は接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
通信設定	ユーザー設定
通信速度	19200
パラメータ	7、2、E
モード	上位リンク
号機 No.	0 号機
ディレー	0
CS 制御	あり

◆ データレジスタに値を設定する場合

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.5 設定例 5

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ③ RS232C	
通信速度 19200 💌	
データ長 07 08	
パリティ 🔍 なし 💿 偶数 🔍 奇数	
ストップビット 〇一1 〇〇 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2 🗮	
送信ウェイト 0 🚞 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 20世話会会	
1株研り追え走 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定 設定	追加
↓ 1 PLC1 シリーズ=Cリンク号機No=0、モニタモードへ変更=ON	+

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変 再確認して	○ C リンク ○ CV リンク 更した場合は、すでに使用されているアドレスを だざい。
号機 No.	0
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

♦ C500-LK201-V1

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
ディップスイッチ2 SW1	設定 OFF	設定内容
ディップスイッチ 2 SW1 SW2	設定 OFF OFF	設定内容
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3	設定 OFF OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4	設定 OFF OFF ON OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5	設定 OFF OFF ON OFF OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 未使用
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6	設定 OFF OFF OFF OFF OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 未使用 1:N手順
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6 SW7	設定 OFF OFF OFF OFF OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 末使用 1:N 手順

モード制御スイッチ (ユニット前面):上位リンク

入出カポート (ユニット背面): RS-232C 同期 (ユニット背面): 内部 終端抵抗 (ユニット背面): 無

CTS (ユニット背面): 0V

◆C500-LK203の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	
SW7	OFF	/blt ゼ、2 ヘトツノ ヒット、 俩级
SW8	OFF	通常
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
ディップスイッチ2 SW1	設定 OFF	設定内容
ディップスイッチ 2 SW1 SW2	設定 OFF OFF	設定内容
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3	設定 OFF OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4	設定 OFF OFF ON OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5	設定 OFF OFF ON OFF ON	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 系統 #0
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6	設定 OFF OFF ON OFF ON OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 系統 #0 1:N 手順
ディップスイッチ 2 SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6 SW7	設定 OFF OFF ON OFF ON OFF	設定内容 伝送速度:19.2Kbps 系統 #0 1:N 手順

モード制御スイッチ (ユニット前面):上位リンク 5V 供給 (ユニット背面):OFF 入出力ポート (ユニット背面):RS-232C 同期 (ユニット背面):内部 終端抵抗 (ユニット背面):無 CTS (ユニット背面):0V

ON

SW8

3.6 設定例 6

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔻	
データ長 ④ 7	
パリティ ○ なし ④ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
Jŀ54 2 Ξ	
送信ウェイト 0 <u>:</u> (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCのV電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。	
機器列減定 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定 設定	追加
↓ 1 PLC1 シリーズ=C リンク、号機No.=0、モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	i ×
PLC1	
	● C リンク ● C V リンク
再確認して	ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの地	▼ モニタモードへ変更 熱合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

♦ C500-LK201-V1

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No. : 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	ON	伝达速度:19.2Kbps
SW/4	OFF	

SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1 : N 手順
SW7	ON	
SW8	ON	レベル1,2,3有効

モード制御スイッチ (ユニット前面):上位リンク

入出カポート(ユニット背面): RS-422

同期(ユニット背面):内部

終端抵抗(ユニット背面):システム構成上、通信接続の末端に位置する場合は[有]、それ以外は[無]に設定してください。

CTS (ユニット背面): 0V

◆C500-LK203の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.:0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	7には目 27し、プレット 個米
SW7	OFF	/ DIL 反、2 ヘトツノ こ ツト、 (柄奴
SW8	OFF	通常
ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	ON	伝达速度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	ON	系統 #0
SW6	OFF	1 : N 手順

モード制御スイッチ(ユニット前面):上位リンク

ON

ON

5V供給 (ユニット背面): OFF

SW7

SW8

入出力ポート (ユニット背面): RS-422

同期(ユニット背面):内部

終端抵抗(ユニット背面):システム構成上、通信接続の末端に位置する場合は[有]、それ以外は[無]に設定してください。

レベル1,2,3有効

CTS (ユニット背面):0V

3.7 設定例 7

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ⓒ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 💿 7 🔘 8	
パリティ 〇 なし 〇 偶数 〇 奇数	
ストップビット 〇 1	
フロー制御	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ <u>2</u>	
送信ウェイト 🛛 🗮 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS2320アイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCOを選択してください。 ねれ間時空	
18500/1822年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
	追加
■ IPLC1 IPLC1 IPLC1 IPLC1 IPLC1	-

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	E 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズを逐 再確認して	○ C リンク ○ CV リンク ご更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0 🗮
動作モード 運転モードの地	✓ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((2) キャンセル

通信は標準設定(初期値)で行ってください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
伝送速度	9600bps
スタートビット	1ビット
データ長	7ビット
ストップビット	2ビット
パリティビット	偶数
号機 No.	0 号機

3.8 設定例 8

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 · RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2 🗮	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給)	
にするかを増択できます。デジタル製HS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期股定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 御碧久 - 融宁	間接機器
■ INU NATURAL SEALE ■ INU NATURAL SEALE SEAL	
	L.

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	 C リンク C CV リンク
シリーズを変 再確認してく	更した場合は、すでに使用されているアドレスを ださい。
号機 No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場	☑ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 CPM1, CPM1H と接続する場合は、SW5 は OFF に設定してください。 CPM2C と接続する場合は、「通信ポート機能スイッチの設定」の SW1 は OFF、SW2 は ON に設定してくだ さい。設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。
3.9 設定例 9

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 📀 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1 〇〇 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚊	
送信ウェイト 0 <u>二</u> (ms)	
RI / VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5)(電源供給)	
にするがを運動できます。アクダル製品コンコンワイクレークヨンユニタ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	1
·····································	1
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 桦碧之	間接機器
■ NU-X=C U205号機No=0千= タモードへ変更=ON	

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設計	Ê 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ	 C リンク C OV リンク
シリーズを 再確認して	変更した場合は、すでに使用されているアドレスを Cくだざい。
号機No.	0 🗮
動作モード 運転モードの ¹	▼ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(①) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW 5は 0FF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.10 設定例 10

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS)の XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
ሀኑ5ብ 🛛 🚍	
送信ウェイト 0 🗮 (ms)	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。	
1株640/1622年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定	追加
【 】 1 JPLC1 ┃ □ Jシリーズ=C リンク、号機No.=D、モニタモードへ変更=ON	÷

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	Ē 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ	 C 0 リンク C 0 V リンク
シリーズを変 再確認して	E更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0 芸
動作モード	☑ モニタモードへ変更
運転モードの地	易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 変換アダプタ上のモード設定 SW は必ず [HOST] に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

*変換アダプタは CPU 上のペリフェラルポートに接続します。

3.11 設定例 11

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔻	
データ長 ④ 7 ● 8	
パリティ ○ なし ④ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
Jŀ54 2 Ξ	
送信ウェイト 0 <u>:</u> (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCのV電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。	
機器列減定 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定 設定	追加
↓ 1 PLC1 シリーズ=C リンク、号機No.=0、モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更 再確認してくだ	○ C リンク ○ CV リンク した場合は、すでに使用されているアドレスを ざい。
号機No.	0 -
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 変換アダプタ上のモード設定 SW は必ず [HOST] に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

*変換アダプタは CPU 上のペリフェラルポートに接続します。

3.12 設定例 12

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ IC/OV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 🔻	
データ長 ④ 7 〇 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1 〇 2	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
Jŀ51 2 <u>≕</u>	
送信ウェイト 0 三 (ms)	
R17 V00 (* R1 0 V00 RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかV0C(6V電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレージョンユニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。	
機構別設定 注注可能分類 16分 機器支持加	
	問接機器
No. 機器名	追加
↓ 1 PLC1 シリーズ=C リンク、号機No=0、モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	i 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズをす 再確認して	○ C リンク ○ CV リンク ご更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの増	✓ モニタモードへ変更 熱合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

CPM2C-CIF01上のペリフェラルポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

CPU ユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

3.13 設定例 13

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 ④ 7 〇 8	
パリティ 🔿 なし 📀 偶数 📀 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
ሀ ኮ চ ብ 📃 🚊	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製FS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期服役定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変	○ C リンク ○ CV リンク 更した場合は、すでに使用されているアドレスを
再確認しい 号機No.	0
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

CPM2C-CIF01上のRS232Cポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

CPU ユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

3.14 設定例 14

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
- 概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🛛 奇数	
ストップビット 〇一1 〇〇 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ 🛛 🚍	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
	追加
■ IPLOT UT IPLOT UT IPP-A=0 リンク考機No.=0,モニタモードへ変更=0N	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	ē 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズ	○ C リンク ○ CV リンク E更した場合は、すでに使用されているアドレスを
再確認して	ください。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの5	✓ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

CPM2C-CIF11上のRS232Cポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

CPU ユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

3.15 設定例 15

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 🔿 RS232C 🔿 RS422/485位線式) 💿 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇 1	
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 \Xi (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。	
1歳66か182年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名	追加
↓ 1 PLC1 ↓ シリーズ=C リンク号機No.=0,モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	i
PLC1	
シリーズ シリーズ	● C リンク ● C V リンク
再確認して	ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの地	▼ モニタモードへ変更 熱合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

CPM2C-CIF11 上の RS422 ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端抵 抗接続無し(OFF)]にしてください。

RS-485 インターフェース切り替えスイッチ

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	1 伯子 医位
SW2	OFF	4 旅工()地行
SW3	OFF	
SW4	ON	CPU ユニットの RS 制御機能

CPU ユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

3.16 設定例 16

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS)の XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
ሀኑ5ብ 🛛 🚍	
送信ウェイト 0 🗮 (ms)	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。	
1株640/1622/年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定	追加
【 】 1 PLC1 」 シリーズ=C リンク、号機No.=D、モニタモードへ変更=ON	÷

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	Ē 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ	 C 0 リンク C 0 V リンク
シリーズを変 再確認して	E更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0 🚊
動作モード	☑ モニタモードへ変更
運転モードの地	易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

CQM1H - SCB41B 上の RS232C を使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

ユニット表面のスイッチ設定

スイッチ	設定
TERM	OFF
FIRE	任意

3.17 設定例 17

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 🔿 RS232C 🔿 RS422/485位線式) 💿 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇 1	
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 \Xi (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。	
1歳66か182年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名	追加
↓ 1 PLC1 ↓ シリーズ=C リンク号機No.=0,モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	i ×
PLC1	
シリーズ シリーズ	● C リンク ● C V リンク
再確認して	ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの地	▼ モニタモードへ変更 熱合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

CQM1H - SCB41B 上の RS422/485 ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6550	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6551	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6553	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

ユニット表面のスイッチ設定

スイッチ	設定
TERM	ON
FIRE	4

システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端抵 抗接続無し(OFF)]にしてください。

3.18 設定例 18

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 🔽	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ C なし O 偶数 C 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2 🗄	
送信ウェイト 0 \Xi (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。	
18667/1824年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定	追加
▶ 1 PLC1 ▶ 1 P	\$

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	ž 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズ 身確認して	● C リンク ○ CV リンク E更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの#	▼ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((の) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.19 設定例 19

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ (C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 ④ 7 〇 8	
パリティ C なし 💿 偶数 🛛 奇数	
ストップビット 〇一1 ④ 2	
フロー制御 ・ なし	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。テジタル製RS2320アイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
#	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
NO. (供研治) 説定	追加
▲ 「 」 PLUT ■] PV = A=U J D D = A = U J D D = A = U + D D D = A = U + D D D = D = D = D = D = D = D = D = D	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	E 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズを逐 再確認して	● C リンク ○ CV リンク E更した場合は、すでに使用されているアドレスを ください。
号機No.	0
動作モード 運転モードの#	▼ モニタモードへ変更 易合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK((2) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

◆ ポート A 使用時

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

◆ ポート B 使用時

レジスタ	設定	設定内容
DM6550	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6551	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6553	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.: 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

3.20 設定例 20

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔻	
データ長 ④ 7	
パリティ ○ なし ④ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
Jŀ54 2 Ξ	
送信ウェイト 0 <u>:</u> (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCのV電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。	
機器列減定 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定 設定	追加
↓ 1 PLC1 シリーズ=C リンク、号機No.=0、モニタモードへ変更=ON	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更 再確認してくだ	○ C リンク ○ CV リンク した場合は、すでに使用されているアドレスを ざい。
号機No.	0 -
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.:0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

コミュニケーションボードのディップスイッチを下記のように設定してください。

- SW1 : ON
- SW2:システム構成上通信接続の末端に位置する場合は、「終端抵抗有り(ON)」、それ以外は、「終端抵抗無し(OFF)」にしてください。

3.21 設定例 21

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー オムロン(株)	シリーズ C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式 💽	RS232C ORS422/485(2線式) ORS422/485(4線式)	
通信速度 192	200 💌	
データ長 🎯 🕻	7 08	
パリティ 〇 7	なし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップビット 〇一	• 2	
フロー制御 〇 🤅	೩L ☉ ER(DTR/CTS) ☉ XON/XOFF	
タイムアウト 3	(sec)	
リト ラ イ 2		
送信ウェイト 0	(ms)	
RS232Cの場合、9番ピン	をRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。 トを使用する場合は、VC	テジタル製FS232Cアイソレーションユニッ Cを選択してください。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台	<u>機器を追加</u>	
		間接機器
No. 機器名		追加
	LLI Jンケース=UV リング方(KINO.=U,モニダモードへ変更=UN	*
No. 機器名 [】 1 PLC1 [設定 ジリーズ=CV リンク号機No.=0.モニタモードへ変更=ON	間接機器 追加

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ C リンク ○ CV リンク した場合は すでに使用されているアドレスを
再確認してた	50%
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ポート1 (RS232C) を使用する場合

ロータリースイッチ *1	設定	設定内容
SW3	0	
SW4	0	亏機 NO:0

*1 SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	下	終端抵抗:無

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ ^{*1}
SW2	ON	ポート 1 : CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

*1 ラダーソフト等で伝送速度を 19200 に変更してください。

3.22 設定例 22

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ IC/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 🔽	
データ長 💿 7 🔘 8	
パリティ 〇 なし • 偶数 〇 奇数	
ストップビット 〇 1	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 0 🗮 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするか VCC(5V電源供給)	
にするかを進択できます。テンタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 おT単脂設定	
#2221日分元	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
	追加
▶ 「PLUT UNT STATEST UNT	1

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ C リンク ○ CV リンク した場合は すでに使用されているアドレスを
再確認してた	50%
号機No.	0 芸
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ポート2 (RS232C) を使用する場合

ロータリースイッチ *1	設定	設定内容
SW3	0	
SW4	0	亏機 NO 10

*1 SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
通信路切替 SW	下	RS232C

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	下	終端抵抗:無

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ ^{*1}
SW2	ON	ポート 1 : CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

*1 ラダーソフト等で伝送速度を 19200 に変更してください。

3.23 設定例 23

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 〇 RS232C 〇 RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔽	
データ長 07 08	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
JF51 2 🗮	
送信ウェイト 0 🚞 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
(こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。	
機商別設定 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定 設定	追加
3 1 PLC1 シリーズ=CV リンク、号機No.=0、モニタモードへ変更=ON	+

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ C リンク ● CV リンク
再確認して	足しにあるは、タビビ皮用されているアトレスを (ださい。
号機No.	0
動作モード 運転モードの場	✓ モニタモードへ変更 合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ポート2 (RS422) を使用する場合

ロータリースイッチ *1	設定	設定内容
SW3	0	
SW4	0	亏機 NO:0

*1 SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
通信路切替 SW	上	RS422

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	上	

*1 終端抵抗切り替えスイッチはシステムの終端に位置するユニットだけONにして下さい。

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ ^{*1}
SW2	ON	ポート 1 : CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

*1 ラダーソフト等で伝送速度を 19200 に変更してください。

3.24 設定例 24

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) シリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💽 7 🔘 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップビット 〇 1	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> ሀトライ 2</u>	
送信ウェイト 0 \Xi (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 ねmitteracrem	
106607/1822と 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No 機器名	追加
▶ 1 PLC1 ▶	-

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ C リンク ○ CV リンク した場合は すでに使用されているアドレスを
再確認してた	50%
号機No.	0 芸
動作モード 運転モードの場合	✓ モニタモードへ変更 、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

RS232C ポートと接続する場合

	設定	設定内容
通信設定切り替え SW	上	RS232C の通信方式

ディップスイッチ ^{*1}	設定	設定内容
SW4	OFF	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ、号 機 No.:0
SW6	OFF	終端抵抗:無

*1 その他のディップ SW の設定は GP との通信には必要ありません。

3.25 設定例 25

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

更

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設計	Ê 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ	 C リンク C リンク
シリーズを 再確認して	変更した場合は、すでに使用されているアドレスを Cください。
号機No.	0 🗄
動作モード 運転モードの ¹	▼ モニタモードへ変更 場合、表示器からの書込みはエラーになります。
	初期設定
	OK(() キャンセル

RS422 ポートと接続する場合

	設定	設定内容
通信設定切り替え SW	下	RS422 の通信方式

ディップスイッチ ^{*1}	設定	設定内容
SW4	OFF	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ、号 機 No. : 0
SW6	ON	終端抵抗:有 ^{*2}

*1 その他のディップ SW の設定は GP との通信には必要ありません。

*2 終端抵抗切り替えスイッチはシステムの終端に位置するユニットだけONにして下さい。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

🧊 「3 通信設定例」(17 ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株) ジリーズ [C/CV シリーズ 上位リンク	ポート COM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 通信方式)
通信速度 19200 🔽	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ C なし © 偶数 C 奇数	
ストップビット 〇一1	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚞 (sec)	
リトライ 2 <u>ニ</u>	
送信ウェイト 0 📩 (ms)	
RI / VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかち避視できます。デジタル制度S232Cアイノルージャンコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
3 PLC1 「PLC1 「シリーズ=C リンク、号機No.=0,モニタモードへ変更=ON	+

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要がありま す。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💕 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	◎ 0 リンク	○ oV リンク
シリーズを変 再確認して	更した場合は、すでに (ださい。	使用されているアドレスを
号機No.	0 🗄	
動作モード	☑ モニタモード/	∖変更
運転モードの場	合、表示器からの書え	込みはエラーになります。
		初期設定
	OK (<u>O</u>) キャンセル

設定項目	設定内容
シリーズ名	接続する接続機器のモデルを選択します。
号機 No.	接続機器の号機番号を設定します。
動作モード	モニタモードへの変更の有効/無効を設定します。

要

 接続機器が運転モードの場合、表示器からの書込みを受付けません。「動作モード」 を有効にすると、起動時に接続機器をモニタモードへと変更し、書き込みできるようにします。
4.2 オフラインでの設定項目

MEMO

 オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

参照: 保守 / トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[通信設定]をタッチします。



設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアル を参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
0/00 シリーズ 」	ヒ位リンク		[COM1]	Page 1/1
接続	器名 PLC	01		•
	シリーズ	C リンク		
	号機 No.		0 💌 🔺	
	モニタモード	○ 無効	• 有効	
1				0005/00/00
9 <u>.</u>	終了		戻る	12:43:53

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ名	接続する接続機器のモデルを選択します。
号機 No.	接続機器の号機番号を設定します。
強制モニタモード	モニタモードへの変更の有効/無効を設定します。

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
			[
C/CV シリーズ _	E位リンク RI / VCC RS232Cの場合 かVCC(5V電) す。デジタリ ユニットを作 てください。	● RI 1、9番ピンをRI(J 原供給)にするかを レ製RS2320アイソI 使用する場合は、V	[COM1] VCC (力)にする 選択できま ノーション CCを選択し	Page 1/1
	終了		戻る	2005/09/02 12:43:55

設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
MEMO • C	iP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT-4*01TM および LT-Rear Module D場合、オフラインモードに [オプション] の設定はありません。

以下に示す結線図とオムロン(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図	1
-----	---

表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	1A	(株)デジタル製 RS232C ケーブル CA3-CBL232/5M-01	
	1B	自作ケーブル	ケーブル長 :15m 以内
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	1C	自作ケーブル	ケーブル長 :15m 以内

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

1A)



1B)

D-:	表 sub 9 b	示器側 ピン(ソケッ	F) D	接約 -sub 25	売機器側 ラピン(プラ	グ)
	ピン	信号名		ピン	信号名	
表示器	3	SD(TXD)		2	SD(TXD)	
	2	RD(RXD)		3	RD(RXD)	
	8	CS(CTS)		4	RS(RTS)	
	5	SG		5	CS(CTS)	
	1	CD		7	SG	
	4	ER(DTR)		20	ER(DTR)	
	7	RS(RTS)		1	FG	

1C)



表示器		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	2A 2B	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
GP3000 ^{*4} (COM2)	2C	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
	2D	+ 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	2E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	2F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	2B	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	2G	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く) 「 ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)
- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、2A の結線図を参照してください。

2A)

1:1 接続の場合







2B)

1:1 接続の場合





2C)

1:1 接続の場合





2D)

1:1 接続の場合



自作ケーブル



2E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

2F)

1:1 接続の場合





2G)

1:1 接続の場合





表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	3A	(株)デジタル製オムロン SYSMAC リンクケーブル CA3-CBLSYS-01	
	3B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	3C	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	3D	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長は 5m 以 内にしてください。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

3A)



3B)

表示器側 D-sub 9ピン(ソケット) D				接紙 -sub 9-	売機器側 ピン(プラク
± - m	ピン	信号名		ピン	信号名
	3	SD(TXD)		2	SD(TXD)
	2	RD(RXD)		3	RD(RXD)
	7	RS(RTS)		4	RS(RTS)
	8	CS(CTS)	ℯ ⅃	5	CS(CTS)
	5	SG		9	SG
				1	FG



3D)

3C)

接続機器側 D-sub 9ピン(プラグ)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	4A	オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01	市販の9ピン-25ピン 変換アダプタが必要で す。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	4B	自作ケーブル + オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01	

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

4A)



4B)



表示器	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	5A 5B	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000 ^{*4} (COM2)	5C 5D	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	5E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	5F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	5B	自作ケーブル	ケーフル長は 500m 以内にしてくださ い。
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプション インターフェイス) ^{*10}	5G	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、5A の結線図を参照してください。

5A)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

 1:n 接続の場合 接続機器側 接続機器側 D-sub 9ピン(プラグ) 端子台 D-sub 9ピン(プラグ) シールド シールド 終端抵抗 信号名 ピン 信号名 ピン 信号名 22001/4W RDA 5 5 SDB SDB \geq RDB 9 9 SDA SDA 表示器 CA3-ADPCOM-01 SDA 1 RDB RDB 1 Ş UU SDB 6 6 RDA RDA 終端抵抗 TERM 7 FG 7 FG CA3-ADPTRM-01 220Ω1/4W SG 自作ケーブル ・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ5、6 を ON にして終端抵抗 MEMO を挿入してください。

5B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

5C)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



5D)

1:1 接続の場合





自作ケーブル

5E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

5F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

5G)

1:1 接続の場合





表示器	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	6A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	6B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	6C	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブ ル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長は 5m 以内にしてく ださい。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

6A)





6C)

6B)

接続機器側 D-sub 9ピン(プラグ) ピン 信号名



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

表示器	ケーブル		備考
$GP3000^{*1}$ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	7A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてください。
IPC ^{*3}	7B	(株)) シッル製 KS422 クーソル CA3-CBL422/5M-01	
	7C	自作ケーブル	
GP3000 ^{*4} (COM2)	7D 7E	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてください。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	7F	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてください。
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM2) PS6000 ($\prec - \upsilon \lor / $ $\# \lor / $ (COM1/2)	7G	 (株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1*9 + 自作ケーブル 	
	7B	(株)デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	クーノル長は 500m 以内にしてください。
	7C	自作ケーブル	
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	7H	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてください。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000

- GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種 *4
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く

- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、7A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 - 7A)
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO ・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

7B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合

	信号名]	接続機器側 信号名]	接続機器側
CA3-CBL422/5M-01	RDA	•	SDB	₊	SDB
表示器	RDB	·	SDA	₄	SDA
	SDA	├ ─── →	RDB]▶	RDB
	SDB	├ ───►	RDA] >	RDA
	SG		SG		SG
\backslash	FG]	FG		FG

自作ケーブル

7C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



を挿入してください。

7D)

1:1 接続の場合





7E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



7F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

7G)

1:1 接続の場合





7H)

1:1 接続の場合





表示器	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1)	8A	自作ケーブル + オムロン(株)製 CS1W-CN225(2m)またはCS1W-CN625(6m)	
ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	8B	自作ケーブル + オムロン(株)製 CS1W-CN226(2m)またはCS1W-CN626(6m)	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
GP-4105 (COM1)	8C	自作ケーブル + オムロン(株)製 CS1W-CN225(2m)またはCS1W-CN625(6m)	ケーブル長は 15m 以
GP-41151 (COM1) GP-4115T3 (COM1)	8D	自作ケーブル + オムロン(株)製 CS1W-CN226(2m)またはCS1W-CN626(6m)	内にしてください。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module	8E	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21 + オムロン(株)製 CS1W-CN225(2m) または CS1W-CN625(6m)	ケーブル長は 11m 以
(COM1)	8F	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21 + オムロン(株)製 CS1W-CN226(2m) または CS1W-CN626(6m)	内にしてください。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^⑦■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)


8B)

8A)



8C)



8D)



8E)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

8F)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

結線図 9

表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	9A	オムロン(株)製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01 + オムロン(株)製コネクタ変換ケーブル CS1W-CN114	市販の9ピン-25ピン変 換アダプタが必要です。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	9B	自作ケーブル + オムロン(株)製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01 + オムロン(株)製コネクタ変換ケーブル CS1W-CN114	

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽²⁾ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

9A)



9B)



結線図 10

表示器		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	10A 10B 10C	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000 ^{*4} (COM2)	10D 10E	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	10F	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	10G	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 [®] + 自作ケーブル	ケーブル是け 500m
	10B	(株)デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	リーリル (k a 500m) 以内にしてください。
	10C	自作ケーブル	
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	10H	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

🦉 🖬 IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、10A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

10A)

1:1 接続の場合





MEMO

 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

[▲]注意 ・ 接続機器を接続する場合、オムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 あるいは 端子台を使用してください。

10B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合





10C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



を挿入してください。

10D)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

10E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



10F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

10G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



10H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



結線図 11

表示器		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	11A 11B	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000 ^{*4} (COM2)	11D 11E	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	11F	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	11G 11B	 (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル (株) デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
	11C	自作ケーブル	
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプション インターフェイス) ^{*10}	11H	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、11A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

🦃 ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

* 接続機器を接続する場合、オムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 あるいは端子台を使用 してください。

11A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。 11B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

11C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



11D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



11E)

1:1 接続の場合





1:n 接続の場合



自作ケーブル

11F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

11G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

11H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



結線図 12

表示器	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	12A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	12B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	12C	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブ ル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長は 5m 以内にしてく ださい。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

12A)



12B)



12C)

接続機器側 D-sub 9ピン(プラグ) ピン 信号名 2 SD(TXD)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

結線図 13

表示器	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	13A 13B	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000 ^{*4} (COM2)	13C 13D	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	13E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	13F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	13B	自作ケーブル	ゲーフル長は 500m 以内にしてくださ い。
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	13G	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

AGP-3302B を除く全 GP3000 機種 *1

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000
- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

*6 SP-5B00 を除く

*7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、13A の結線図を参照してください。
- - 13A)
 - 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



13B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



13C)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



MEMO

13D)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

• 1:n 接続の場合



MEMO

13E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

MEMO

13F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



13G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合





結線図 14

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	14A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	14B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長 : 500m 以内
	14C	自作ケーブル	
GP3000 ^{*4} (COM2)	14D 14E	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長 : 500m 以内
	111	+ 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	14G	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 ^{*8} (COM2)	14H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	14I	(株) デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	14C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	14J	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

SP-5B00 を除く *6

- *7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して *8 ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、14Aの結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01)を使用する場合、14Bの 結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽³⁷⁾ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

14A)





14C)





14E)



14F)




*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。



自作ケーブル

14I)

14H)





結線図 15

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	15A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	15B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長 : 500m 以内
	15C	自作ケーブル	
GP3000 ^{*4} (COM2)	15D 15E 15F	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +	ケーブル長 : 500m 以内
		自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	15G	自作ケーブル	ケーブル長:500m以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	15H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
S16000 ' (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2)	151	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	15C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	15J	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内

- *1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

🦃 🖬 IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、15A の結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、15B の 結線図を参照してください。

15A)





15C)





15E)



15F)



15G)



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。



15I)





結線図 16

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + 16A (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 		
GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	16B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長 : 500m 以内
	16D	 	
GP3000 ^{*4} (COM2)	16E	自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
	16F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	16G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	16H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	
ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1)	161	(株) デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	16C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	16J	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く) [●] ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- SP-5B00 を除く *6
- *7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して *8 ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、16Aの結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01)を使用する場合、16Bの 結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽³⁾ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

16A)





16C)





16E)

16D)



16F)







*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。





結線図 17

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2)	17A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 	
GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	17B	自作ケーブル (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内
	17D	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
GP3000 ^{*4} (COM2)	17E	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長 : 500m 以内
	17F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	17G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	17H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	
ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1)	17I	(株) デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	17C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	17J	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く) [●] ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して *8 ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、17Aの結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01)を使用する場合、17Bの 結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽³⁾ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

MEMO 接続機器を接続する場合はオムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 または端 子台を使用してください。











МЕМО	 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。 	
------	---	--



17E)



мемо •	終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。
--------	---------------------------------

17F)



MEMO



• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。







結線図 18

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	18A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	18B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長 : 500m 以内
	18C	自作ケーブル	
GP3000 ^{*4} (COM2)	18D 18E 18F	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + + (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +	ケーブル長 : 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	18G	自作ケーブル	ケーブル長:500m以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST-6200 (COM2) ST-6200 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	18H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	181	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
	18C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	18J	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

^(⑦) ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、18A の結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01)を使用する場合、18Bの 結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

MEMO ・ 接続機器を接続する場合はオムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 または端 子台を使用してください。





18C)



MEMO	•	終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。
------	---	---------------------------------


MEMO ・ 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。



MEMO	線端となる接続機要の線端抵抗スイッチを ON にしてください





MEMO

・ 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。





終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。





・ 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。



18I)

18J)



結線図 19

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	19A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 		
GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	19B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01	ケーブル長 : 500m 以内	
	19C	自作ケーブル		
GP3000 ^{*4} (COM2)	19D	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 	ケーブル長 : 500m 以内	
	19E	 (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 		
	19F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	19G	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内	
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	19H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル		
ST6000 ^{*/} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2)	19I	(株) デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内	
PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	19C	自作ケーブル		

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	19J	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- SP-5B00 を除く *6
- *7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して *8 ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、19Aの結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01)を使用する場合、19Bの 結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^⑦ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

19A)





・ 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。

19C)







19E)







*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。

МЕМО	•	接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。
-		



MEMO ・ 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。



MEMO

・ 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。



6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

6.1 SYSMAC-C シリーズ

: システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー				
内部補助リレー	000.00 - 511.15	000-511		*1 *3
特殊補助リレー				
アナログ設定値格納エリア	220.00 - 223.15	$220 \sim 223$		*2 *3
データリンクリレー	LR00.00 - LR63.15	LR00-LR63		*3
補助記憶リレー	AR00.00 - AR27.15	AR00-AR27		*3
保持リレー	HR00.00 - HR99.15	HR00-HR99		*3
タイマ(接点)	TIM000-TIM511	—		
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	—		
タイマ(現在値)	_	TIM000-TIM511		*4
カウンタ(現在値)	—	CNT000-CNT511		*4
データメモリ	—	DM0000-DM6655		<u>вт</u> 15]

*1 各デバイスの使用範囲および書き込みの可否については CPU によって異なる場合がありますので、 各 CPU のマニュアルで確認してください。

*2 CQM1-CPU42のみで使用できます。

- *3 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- *4 BCD のみ
 - MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。
 - 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式 専用エリア)」
 - 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^②「表記のルール」

6.2 SYSMAC-C シリーズ (CQM1H-CPU51/CQM1H-CPU61)

: システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー	000.00 042.15	000 242		*1 ?3
内部補助リレー	000.00 - 243.15	000-245		
特殊補助リレー	244.00-255.07	244-255		*2 ?3
リンクリレー	LR00.00-LR63.15	LR00-LR63		*3
補助記憶リレー	AR00.00-AR27.15	AR00-AR27		*3
保持リレー	HR00.00-HR99.15	HR00-HR99	ΓL / H)	*3
タイマ(接点)	TIM000-TIM511	—		
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	—		
タイマ(現在値)	—	TIM000-TIM511		*4
カウンタ(現在値)	—	CNT000-CNT511		*4
データメモリ	—	DM0000-DM6655		<u>₿ 1</u> 5] ^{*5}
拡張データメモリ	_	EM0000-EM6143	, 	<u>₿;</u> , 15] ^{*6}

*1 入力リレー/内部補助リレーのアドレス範囲の中で、アドレスが存在していない部分があります。 総裁はオムロン(株)製 SYSMAC-CQM1H ユーザーズマニュアルを参照してください。

- *2 特殊補助リレーのビットアドレスは 244.00 254.15 / 255.00 07 となります。 255.08 255.15 の ビットアドレスは存在しません。
- *3 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- *4 BCD のみ
- *5 データメモリ DM の以上格納エリア DM6569-DM6599、PC システム設定エリア DM6600-DM6655 に は書き込みしないでください。
- *6 拡張データメモリ EM は CQM1H-CPU61 のみサポートしています。

MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

> 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

6.3 SYSMAC-α シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー I	000.00 - 029.15	000-029		*1
入出カリレーⅡ	300.00-309.15	300-309		*1
内部補助リレー I	030.00-235.15	030-235		*1
内部補助リレーⅡ	310.00-511.15	310-511		*1
特殊補助リレーI	236.00-255.07	236-255		*1
特殊補助リレーⅡ	256.00-299.15	256-299		*1
リンクリレー	LR00.00-LR63.15	LR00-LR63		*1
補助記憶リレー	AR00.00-AR27.15	AR00-AR27	rL/H)	*1
保持リレー	HR00.00-HR99.15	HR00-HR99		*1
タイマ(接点)	TIM000-TIM511	_		
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	_		
タイマ(現在値)	_	TIM000-TIM511		*2
カウンタ(現在値)	—	CNT000-CNT511		*2
データメモリ	—	DM0000-DM6655		<u>ві 15</u> 1 ^{*3}
拡張固定データメモリ	—	DM7000-DM9999	ſ	<u>₿ 1</u> 5] ^{*4}
拡張データメモリ	—	EM0000-EM6143		<u>₿ 1</u> 5] ^{*5}

- *1 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- *2 BCD のみ
- *3 存在しないデータメモリエリア (DM6656 ~ DM6999) にアクセスを行った場合の動作は保証でき ません。
- *4 拡張固定 DM の設定を行わずに DM7000 ~ DM9999 にアクセスを行った場合の動作は保証できません。
- *5 拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できません。

- 用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

MEMO
 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専

6.4 SYSMAC-CV シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー	000.00 100.15	000 100		*1
内部補助リレー	000.00 - 199.15	000-199		*1
SYSMAC BUS/2 リモー ト IO リレー	0200.00-0999.15	0200-0999		*1
データリンクリレー	1000.00 - 1199.15	1000-1199		*1
特殊補助リレー	A000.00 - A511.15	A000-A511		*1
保持リレー	1200.00 - 1499.15	1200-1499		*1
内部補助リレー	1900.00 - 2299.15	1900-2299	[L/H]	*1
SYSBUS リモート IO リ レー	2300.00 - 2555.15	2300-2555		*1
タイマ(接点)	T0000-T1023	_		*2
カウンタ(接点)	C0000-C1023	—		*2
タイマ(現在値)	_	T0000-T1023		*3
カウンタ(現在値)	—	C0000-C1023		*3
データメモリ	—	D0000-D9999		<u>⊪⊤15</u>]

*1 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。

*2 書き込み不可

*3 BCD のみ

МЕМО	・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく
	ださい。

- 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式 専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞ 「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイス&アドレス」 を設定している場合に使用します。

7.1 SYSMAC-C シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー			
内部補助リレー	—	0080	ワードアドレス
特殊補助リレー			
アナログ設定値格納エリア	LR	0088	ワードアドレス
データリンクリレー	—	0080	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス

7.2 SYSMAC-C シリーズ (CQM1H-CPU51 / CQM1H-CPU61)

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー			
内部補助リレー	—	0080	ワードアドレス
特殊補助リレー			
リンクリレー	LR	0088	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス

次のページに続きます。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0001	ワードアドレス

7.3 SYSMAC-α シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー I			
入出カリレーⅡ			
内部補助リレー I		0080	ロードアドレフ
内部補助リレーⅡ	—	0080	
特殊補助リレーI			
特殊補助リレーⅡ			
リンクリレー	LR	0088	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張固定データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0001	ワードアドレス

7.4 SYSMAC-CV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー			
内部補助リレー			
SYSMAC BUS/2 リモート IO リレー	_	0080	ワードアドレス
データリンクリレー			
特殊補助リレー	А	0085	ワードアドレス
保持リレー	_	0080	ワードアドレス
内部補助リレー	_	0080	ワードアドレス
SYSBUS リモート IO リレー	_	0080	ワードアドレス
タイマ(接点)	Т	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	С	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	Т	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	С	0061	ワードアドレス
データメモリ	D	0000	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	 エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。 デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035: PLC1:書き込み要求でエラーを受信しました(受信エラーコード:2[02H])」

MEMO	 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	 ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「表
	示器で表示されるエラー」を参照してください。